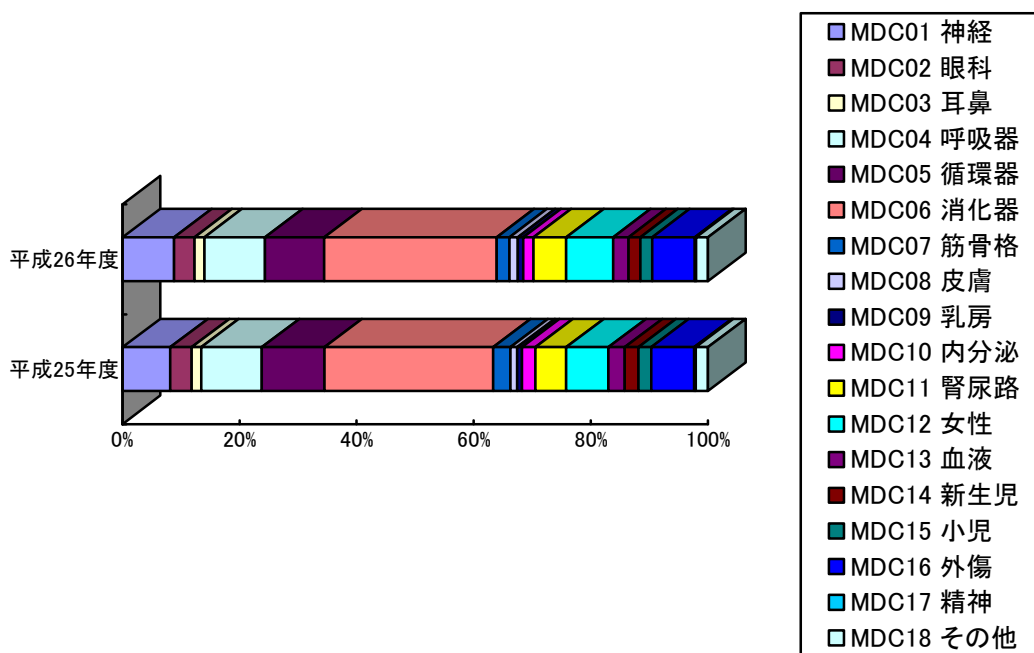


平成 26 年度診療実績

当院は DPC 対象病院で、退院患者調査として臨床情報や医事情報を毎年厚生労働省に報告しています。また、当院での診療実績を独自に分析し診療の質向上に取り組んでいます。そのうち、医療情報機能制度、「医療広告ガイドライン」、「医療機関ホームページガイドライン」に鑑みて当院の診療実績の一部を公表いたします。

主要診断疾患群(major diagnosis category: MDC)別入院患者数(延べ数)



平成 26 年度も MDC06 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患が最も多く、約 30%を占めていた。MDC04 呼吸器系疾患、MDC05 循環器系疾患が続き、年間 1000 件以上の入院件数があった。MDC01 神経系疾患が 909 件、MDC12 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩での入院が 826 件と続いた。MDC16 外傷・熱傷・中毒の入院が 752 件もあった。平成 25 年度と比較し大きな変化はなかった。

MDC(主要診断疾患群)別入院患者の内訳

MDC	救急入院 (%)	手術 (%)	再入院 7 (%)	平均年齢	平均在院日数
01	69.7	18.3	0.6	69.0	19.8
02	0.8	98.6	0.0	72.0	3.1
03	86.9	8.6	0.6	23.6	4.9
04	74.9	4.9	1.5	46.7	12.2
05	52.4	37.8	1.8	72.0	9.4

06	23.9	63.3	2.7	66.9	10.8
07	20.4	61.9	1.3	57.4	16.0
08	27.4	37.0	0.0	39.1	9.1
09	3.0	68.0	1.0	61.5	9.4
10	51.4	12.7	4.4	60.2	12.3
11	32.2	41.4	1.7	67.5	9.7
12	10.2	71.9	2.9	39.4	8.7
13	30.3	10.7	0.4	65.2	29.2
14	5.3	23.1	2.9	3.6	8.4
15	79.3	0.0	0.0	16.0	5.2
16	62.2	75.7	0.4	60.1	10.9
17	56.0	32.0	0.0	56.8	7.6
18	38.3	57.4	1.9	69.0	12.7

今回は MDC 別に緊急入院割合、手術実施割合、7 日以内の再入院割合、平均年齢、平均在院日数を公表することにした。

緊急入院割合が最も高いのは MDC03 耳鼻咽喉科系疾患で、その多くが上気道感染症であった。手術実施割合が最も高いのは MDC02 眼科系疾患であった。手術目的の入院がほとんどであった。再入院 7 の割合が最も高いのは MDC10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患で、一人の患者が体液量減少症(脱水症)で頻回に入退院を繰り返す特殊な事情であった。平均年齢は前年度同様 MDC05 循環器系疾患と MDC02 眼科系疾患が最も高かった。